

# 非定型診療明細書を読み取り

## A—OCRソリューション開発着手

### アイリックコーポレーション

アイリックコーポレーションは5月11日、非定型A—OCRソリューション「スマートOCR診療明細書」を2020年秋の提供開始に向けて、同社の100%子会社であるアイリックが開発に着手したと発表した。診療明細書は一般的に、医療機関によってさまざまなフォーマットであるため、定型フォーマットの読み取りが難しい非定型文の読

み取りができる。また、スマートフォン等で撮影された画像も、自動補正し、文字認識が可能で、網掛け文字・反転文字・塗りつぶし文字の読み取りもできる。導入企業の形態・要望に合わせて、プライベートクラウド版、オンプレミス版の提供を予定している。「スマートOCR診

療明細書」は、保険会社における支払査定での活用や診療明細書をデータ化するさまざまな業種の企業などに貢献し、既存システムとの連携やRPA連携、アプリとの連携などカスタマイズ開発も可能だ。

アイリックコーポレーションでは、「スマートOCR診療明細書」と他システムとの連携により、診療行為のコード化・保険金支払判定機能の構築やエンジニアリングを推進するため、当該業務におけるノウハウを持つ企業との提携を行っている。現在は(株)アシスト(東京都千代田区、大塚辰男代表取締役社長)との協業を進めており、今後も提携先企業を拡大し、新しいサービスを創出していくとしている。

アシスト執行役員 日本第二営業本部長の 大山貴志氏は「弊社の取扱製品であるデータ連携ツール『Data Spider』や保険業界で導入実績の多い『Progress Corticon』と『スマートOCR診療明細書』を組み合わせることで、診療行為のコード化や保険金支払

判定機能の構築といった、データ連携や業務自動化によるさまざまなメリットを顧客に提供することができる。また、『Patent a』や『Quick』などを組み合わせることで、データ加工から分析まで、データをさらに活用するための提案も可能だ」と述べている。